

発行日: 2017年03月01日

## 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称:

製品名称: キシラデコール

製品番号(SDS NO): A60030A-5

製品種類:

#101カラレス、#102ピニー、#103チーク、#104エボニ、#105カスタニ、  
#106タンネングリーン、#107マホガニ、#108パリサンダ、#109シルバグレイ、  
#110オリーブ、#111ウォルナット、#112ジェットブラック、#114ワイス、  
#115スプルース、#116ブルーグレイ

供給者情報詳細

供給者: 大阪ガスケミカル株式会社

住所: 〒550-0023 大阪市西区千代崎三丁目南2番37号 ドームシティガスビル

担当部署: 保存剤事業部 品質保証部

電話番号: 06-4393-0064

FAX: 06-4393-0054

緊急連絡先: 保存剤事業部 研究開発部 (電話番号06-4804-8380 FAX番号06-4804-8459)

用途及び使用上の制限 木材保護塗料

## 2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体: 区分 3

健康に対する有害性

急性毒性(経口): 分類区分外

急性毒性(経皮): 分類区分外

皮膚腐食性及び刺激性: 区分 2

眼に対する重篤な損傷性または眼刺激性: 分類区分外

皮膚感作性: 分類区分外

発がん性: 区分 2

生殖毒性: 分類区分外

特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分 3 (気道刺激性)

特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分 3 (麻酔作用)

特定標的臓器毒性(反復ばく露): 区分 2 (呼吸器系、呼吸器、中枢神経系)

吸引力呼吸器有害性: 区分 1

環境有害性

水生環境有害性(急性): 区分 3

水生環境有害性(長期間): 区分 1

(注) 記載なきGHS分類区分: 該当せず/分類対象外/区分外/分類できない

GHSラベル要素



注意喚起語: 危険

危険有害性情報

引火性液体及び蒸気

皮膚刺激

発がんのおそれの疑い  
呼吸器への刺激のおそれ  
眠気又はめまいのおそれ  
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ  
飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ  
水生生物に有害  
長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

#### 注意書き

##### 安全対策

使用前に取扱い説明書を入手すること。  
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
環境への放出を避けること。  
熱/火花/裸火/高温などの着火源から遠ざけること。一禁煙。  
容器を密閉しておくこと。  
容器を接地しアースをとること。  
防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。  
火花を発生させない工具を使用すること。  
静電気放電に対する予防措置を講ずること。  
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。  
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。  
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。  
取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。  
保護手袋を着用すること。  
保護手袋及び保護面を着用すること。  
指定された個人用保護具を使用すること。

##### 応急措置

火災の場合:指定された消火剤を使用すること。  
漏出物を回収すること。  
特別な処置が必要である。  
気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。  
ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師の診断/手当てを受けること。  
気分が悪いときは医師に連絡すること。  
吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
皮膚に付着した場合:多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。  
皮膚(又は髪)に付着した場合:直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。  
皮膚刺激が生じた場合:医師の診断/手当てを受けること。  
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。  
無理に吐かせないこと。  
飲み込んだ場合:直ちに医師に連絡すること。

##### 貯蔵

換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。  
施錠して保管すること。

##### 廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

##### 物理的及び化学的危険性

燃えやすい液体である。蒸気が滞留すると爆発の恐れがある。

## 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別：  
混合物

成分名	含有量(%)	CAS No.	化審法番号
木材用防腐・防カビ剤	3.0未満	非公開	非公開
木材用防虫剤	0.1未満	非公開	非公開
酸化第二鉄	0.0 - 3.0	1309-37-1	1-357
酸化チタン(IV) #109	1.0 - 10.0	13463-67-7	1-558
酸化チタン(IV) #114	14.0 - 19.0	13463-67-7	1-558
酸化チタン(IV) #116	6.0 - 15.0	13463-67-7	1-558
カーボンブラック	0.0 - 4.0	1333-86-4	-
C.I. ピグメントグリーン 7	0.0 - 0.9	1328-53-6	5-3315
キシレン(異性体混合物)	0.1 - 1.0	1330-20-7	3-3;3-60
ナフタレン	0.1 - 0.9	91-20-3	4-311
灯油 #114、#116	38.0 - 46.0	64742-81-0	9-1702
灯油 #114、#116以外	54.0 - 62.0	64742-81-0	9-1702
1,2,4-トリメチルベンゼン	1.0 - 5.0	95-63-6	3-7;3-3427
1,3,5-トリメチルベンゼン	1.0 - 3.0	108-67-8	3-7;3-3427
n-ノナン	6.0 - 10.0	111-84-2	2-9
キュメン	0.1 - 0.9	98-82-8	3-22

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

酸化第二鉄，酸化チタン(IV)，カーボンブラック，灯油，1,2,4-トリメチルベンゼン，  
1,3,5-トリメチルベンゼン，n-ノナン，キシレン(異性体混合物)

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

酸化第二鉄，酸化チタン(IV)，カーボンブラック，C.I. ピグメントグリーン 7，ナフタ  
レン，灯油，1,2,4-トリメチルベンゼン，1,3,5-トリメチルベンゼン，n-ノナン，  
キシレン(異性体混合物)，キュメン

化管法「指定化学物質」該当成分

1,2,4-トリメチルベンゼン，1,3,5-トリメチルベンゼン

## 4. 応急措置

応急措置の記述

吸入した場合

呼吸が停止しているときは人工呼吸を行う。

呼吸困難のときは酸素吸入を行う。

患者を直ちに空気の新鮮な場所に移し、安静、保温に努め、速やかに医師の手当てを受ける。

皮膚(または髪)に付着した場合

汚染された衣類を直ちに全て脱ぐこと。

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。

外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪いときには医師の診断を受ける。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後  
も洗浄を続けること。

眼の中に全て水が行き届くように洗浄する。

直ちに眼科医の手当てを受ける。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

意識のない被災者には何も飲物を与えてはならない。

直ちに医師に連絡すること。

---

## 5. 火災時の措置

### 消火剤

#### 適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。

粉末、炭酸ガス、泡消火剤、ハロゲン化物消火剤、乾燥砂

#### 不適切な消火剤

水を使用してはならない。

---

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外は近づけない。

適切な保護具を着用する。

風上から作業し、風下の人を退避させる。

### 環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

### 回収、中和 ならびに 封じ込め及び浄化の方法/機材

少量の場合:乾燥砂、土、おがくず、ウエス、砂等に吸収させて空容器に回収する。

多量の場合:土砂などでその流れを止め、できるだけ空容器に回収する。

### 二次災害の防止策

着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。

全ての発火源を取り除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)

---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

#### 技術的対策

(取扱者のばく露防止)

皮膚、粘膜または着衣に触れたり、眼に入らないようにする。

(火災・爆発の防止)

火気厳禁

火気、静電気、衝撃火花などによる着火源が生じないように注意する。

#### 局所排気、全体換気

8. ばく露防止及び保護措置を参照

#### 注意事項

皮膚に触れないようにする。

眼に入らないようにする。

蒸気は、めまいや窒息を引き起こすおそれがある。

#### 安全取扱注意事項

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

適切な保護具については、8. ばく露防止及び保護措置を参照

#### 配合禁忌等、安全な保管条件

##### 適切な保管条件

直射日光を避け、密閉して冷暗所に保管する。

##### 配合禁忌

10. 安定性及び反応性に記載の混触危険物質との接触を避ける。

#### 容器包装材料

奨励材料 製品容器

不適切材料 鉄製容器

---

## 8. ばく露防止及び保護措置

職業ばく露限界値、生物学的限界値等の管理指標

## 許容濃度

(n-ノナン)

ACGIH(2011) TWA: 200ppm (中枢神経系損傷)

(酸化第二鉄)

ACGIH(2005) TWA: 5mg/m<sup>3</sup>(R) (じん肺)

(キシレン(異性体混合物))

ACGIH(1992) TWA: 100ppm

STEL: 150ppm (上気道および眼刺激; 中枢神経系損傷)

(カーボンブラック)

ACGIH(2010) TWA: 3mg/m<sup>3</sup>(I) (気管支炎)

(酸化チタン(IV))

ACGIH(1992) TWA: 10mg/m<sup>3</sup> (下気道刺激)

(灯油)

ACGIH(2003) TWA: 200mg/m<sup>3</sup>(P) (皮膚および上気道刺激; 中枢神経系損傷)

(ナフタレン)

ACGIH(2013) TWA: 10ppm (上気道刺激; 白内障; 溶血性貧血)

(キュメン)

ACGIH(1997) TWA: 50ppm (眼, 皮膚および上気道刺激; 中枢神経系損傷)

## ばく露防止

## 設備対策

適切な換気のある場所で取扱う。

取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

## 保護具

## 呼吸用保護具

必要に応じて有機ガス用防毒マスク

## 手の保護具

非浸透性もしくは耐化学品ゴム

## 眼の保護具

化学品用ゴーグル

## 皮膚及び身体の保護具

長袖作業衣、必要に応じて防災面、長靴など

## 9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

## 物理的状态

形状 : 液体

色 : 15色 (#101カラレスは透明)

臭い : 溶剤臭

pH : 適用外

## 物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

初留点/沸点データなし

融点/凝固点データなし

分解温度データなし

引火点 : 42~48°C

自然発火温度データなし

爆発特性データなし

蒸気圧データなし

蒸気密度データなし

比重/密度: 0.80~1.01(20°C)

## 溶解度

水に対する溶解度 : データなし(水に対して不溶)

溶媒に対する溶解度 : データなし

n-オクタノール/水分配係数データなし

---

## 10. 安定性及び反応性

### 化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。  
直射日光を避け、密閉して冷暗所に保管する。

### 避けるべき条件

加熱、火源、静電気等

塗料を拭き取ったぼろ布等は、自然発火の恐れがあるため焼却するか、十分水に浸してから処分する。

### 混触危険物質

危険物第1類、第6類

### 危険有害な分解生成物

知見なし

---

## 11. 有害性情報

物理的、化学的及び毒性学的特性に関係した症状

### 急性毒性

#### 急性毒性(経口)

LD50 >2000mg/kg (ラット)

#### 急性毒性(経皮)

LD50 >2000mg/kg (ラット)

### 局所効果

#### 皮膚腐食性・刺激性

刺激性を有し、腐食性は持たない。(家兎)

#### 眼に対する重篤な損傷・刺激性

重篤な損傷性および刺激性作用は持たない。(家兎)

### 感作性

#### 皮膚感作性

なし(モルモット、ビューラー法)

### 生殖細胞変異原性

復帰突然変異原性試験(エームス試験): 陰性

### 発がん性データなし

### 生殖毒性

#### 催奇形性

1000mg/kg/day投与において、母動物に投与初期の摂餌量の減少および軽度の体重抑制が認められた。  
胎児に対しては、1000mg/kg/day投与においても影響は認められず、催奇形性も認められなかった(ラット)。

### 短期/長期ばく露による即時/慢性影響データなし

### 吸引性呼吸器有害性データなし

---

## 12. 環境影響情報

### 生態毒性

### 水生毒性

#### 水生毒性(急性)

魚類 LC50(96時間) 10~100mg/L(コイ)

甲殻類 EC50(48時間) 1.0~10mg/L(オオミジンコ)

藻類 データなし

### 残留性・分解性データなし

### 生体蓄積性データなし

### 土壌中の移動性データなし

### オゾン層破壊物質データなし

---

**13. 廃棄上の注意**

## 廃棄物の処理方法

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

## 汚染容器及び包装

内容物を十分に除去した後、地方/国の規則に従って廃棄する。

---

**14. 輸送上の注意**

## 国連番号、国連分類

番号 : 1263

品名(国連輸送名):

塗料又は塗料関連物質

国連分類(輸送における危険有害性クラス): 3

容器等級 : III

指針番号 : 128

## 国内規制

陸上規制情報 消防法、毒物及び劇物取締法の規定に従う。

海上規制情報 船舶安全法に定められている輸送方法に従う。

航空規制情報 航空法に定められている輸送方法に従う。

## 特別の安全対策

容器の破損、漏れのないことを確認する。

転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

取扱い及び保管上の注意の項も参照する。

---

**15. 適用法令**

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則

毒物及び劇物取締法に該当しない。

## 労働安全衛生法

有機則 第3種有機溶剤等

脂肪族石油ナフサ; 高沸点芳香族ナフサ

名称表示危険/有害物 (令18条)

キシレン(異性体混合物); カーボンブラック; 酸化チタン(IV); 酸化第二鉄; 灯油; 1,2,4-トリメチルベンゼン; 1,3,5-トリメチルベンゼン; n-ノナン

名称通知危険/有害物 (第57条の2、令第18条の2別表9)

カーボンブラック; キシレン(異性体混合物); キュメン; 酸化チタン(IV); 酸化第二鉄; C.I.ピグメントグリーン 7; 灯油; 1,2,4-トリメチルベンゼン; 1,3,5-トリメチルベンゼン; ナフタレン; n-ノナン

成分名/品番	#101	#102 #105 #115	#103 #108	#104 #112	#106	#107	#109
	含有量(%)						
酸化第二鉄		1.0未満	1.0 - 3.0			1.0 - 3.0	1.0未満
酸化チタン(IV)							1.0 - 10.0
カーボンブラック		0.1未満	0.1 - 4.0	0.1 - 4.0	0.1 - 4.0	0.1未満	0.1 - 4.0
C.I. ピグメントグリーン 7					0.1 - 0.9		
キシレン(異性体混合物)	0.1 - 1.0						
ナフタレン	0.1 - 0.9						
灯油	54.0 - 62.0						
1,2,4-トリメチルベンゼン	1.0 - 5.0						
1,3,5-トリメチルベンゼン	1.0 - 3.0						
n-ノナン	6.0 - 10.0						
キュメン	0.1 - 0.9						

成分名/品番	#110 #111	#114	#116
	含有量(%)		
酸化第二鉄	1.0未満		1.0未満
酸化チタン(IV)		14.0 - 19.0	6.0 - 15.0
カーボンブラック	0.1 - 4.0		0.1 - 4.0
C.I. ピグメントグリーン 7			
キシレン(異性体混合物)	0.1 - 1.0		
ナフタレン	0.1 - 0.9		
灯油	52.0 - 60.0	38.0 - 46.0	
1,2,4-トリメチルベンゼン	1.0 - 5.0		
1,3,5-トリメチルベンゼン	1.0 - 3.0		
n-ノナン	6.0 - 10.0		
キュメン	0.1 - 0.9		

## 化学物質管理促進(PRTR)法

## 第1種指定化学物質

1,2,4-トリメチルベンゼン(4.3%); 1,3,5-トリメチルベンゼン(1.2%)

## 消防法

第4類 引火性液体第2石油類非水溶性液体 危険物等級 III

## 船舶安全法

引火性液体類 分類3

## 航空法

引火性液体 分類3

## 16. その他の情報

## 参考文献

Globally Harmonized System of classification and labeling of chemicals, UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS, UN

TLVs and BEIs. (ACGIH)

<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>

JIS Z 7253

Supplier's data/information

## 責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の実施を対象としたものであって、特殊な取扱いの場合

合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は作成時点における日本公表データ(NITE)です。